

早稲田大学 スポーツ科学部 英語 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式
試験時間	90分
特徴・その他	大問・小問の中で、難易度に差があるので、簡単と思われるものから解答し、ひとつの大問にとらわれて時間のロスをしないように気持ちを切り換えていくことを要する。

〔大問別講評〕

番号	設問形式	コメント	難易度
I	1) 段落別読解 2) 内容一致	「運動能力の限界と薬物」についての45行の英文。 選択肢を選ぶにあたっては、「オリンピック」「男女差」といった要素も混乱を招くので、注意が必要。	難
II	1) 質疑応答形式 内容把握 2) 発音	「壁画の意味」についての21行の英文。 各所にポイントとなる単語があるので、落ち着いて解くことが肝心。	易
III	1) 段落別読解 2) 類義語 3) タイトル選択	「エクアドルの国民性」についての31行の英文。 選択肢が最終的に二者択一で迷うようなものが多いので、消去法も必要。	やや易
IV	文法・イディオム	8問。主に前置詞と副詞の選択。	やや易
V	会話空欄補充	4問。疑問文に対する応答にヒントがある。	易
VI	文法・不適切選択	5問。類義語・品詞など、勉強のやり方により難易度の印象が大きく異なると思われる。浅い暗記中心の勉強方では辛いだろう。	難←→易
VII	文法・正誤問題	8問。“No Error”があるので難しいと思われるが、オーソドックスな正誤問題の作り方である。	やや難

〔総合コメント〕

選択肢の認定が旨く、最後に二者択一で悩ますものが多い。冷静にポイントを見極めることが大事。問題数が多いので、焦ってつまらない間違いをしそうである。注意して冷静に対処すること。

ネイティブが聞いたら間違えそうな問題もあり、典型的な受験英語問題といえる。

単に単語や構文を覚える勉強に終始した受験生には難易度が増すと思われる。